

令和5年度 男子第62回・女子第53回
西日本学生ハンドボール選手権大会

大会開催にあたっての諸注意

開催日 男子：令和5年8月8日（火）～8月13日（日）

女子：令和5年8月9日（水）～8月13日（日）

大会会場 スカイホール豊田

競技上の注意

1. 競技規則

本大会は、2023年度(公財)日本ハンドボール協会競技規則及び最新の競技規則によって行う。

2. 競技時間

- (1) 予選リーグは25分(前半)－10分－25分(後半)で実施、延長戦は行わない。
決勝トーナメント、インカレ決定戦は30分(前半)－10分－30分(後半)で行われる。決勝トーナメント準決勝までとインカレ出場決定戦は第1延長まで、男女決勝戦は第2延長まで実施する。それでも勝敗が決しない場合には7MTCを実施する。
- (2) 加算式の電光表示板を使用する。
- (3) 競技終了の合図は、ブザーまたは笛で行う。
- (4) 退場者は、退場者電光掲示板の入場時間表示で対応する。電光掲示板表示は「0」になれば入場することができる。各種のトラブル等で退場者電光掲示板が使用できないときには、オフィシャル席上に掲示する。入場の判断は、チームの責任による。オフィシャル席からは合図することはなく、また、問いかけても回答しない。

3. 予選リーグ戦(男子8リーグ・女子4リーグ)順位決定方法

4チームによるリーグ戦の順位決定方法は、以下のとおりとする。

- A. 勝ち点制(勝=2点・引分け=1点・負=0点)で、勝ち点の多いチームを上位とする。
- B. 勝ち点が同数である場合、当該チームの対戦の勝者を上位とする。
- C. 該当チーム間の試合の総得点・総失点の差で多いチームを上位とする。
- D. 該当チーム間の総得失点差が同数の場合、総得点の多いチームを上位とする。
- E. すべての試合の総得点・総失点の差で多いチームを上位とする。
- F. 総得失点差が同数の場合、総得点の多いチームを上位とする。
- G. 上記すべて同数(対戦者間引き分け)の場合、抽選により決定する。

4. 全日本学生ハンドボール選手権大会出場権

男子は各リーグの1位8チーム及びインカレ出場決定戦で勝利した4チーム(12チーム)、女子は各リーグの2位までの8チームが出場権を得る。

なお、決勝トーナメントで第3位になったチームのインカレシード権は、次のとおりとする。

- ①優勝チームに敗れたチーム : 3-A
- ②準優勝チームに敗れたチーム : 3-B

5. 男子インカレ出場決定戦

組み合わせ抽選は、大会3日目(8月10日)のすべての試合が終了後、20時(予定)から大会本部(会議室)にて実施する。また、該当するチームの代表者は、必ず出席すること。

6. 大会使用球

(公財)日本ハンドボール協会の検定球のモルテン社ヌエバX5000を使用する。空気圧は試合開始前、競技実施に支障の無いよう、TD・審判員と両チーム責任者の合意の下で決定する。

7. 競技会場

競技会場は、スカイホール豊田（40m×20m【3面】）で実施する。

8. メンバー表の提出、トス、ユニホームなどについて

- (1) メンバー表の提出、トス、ユニホームの確認は、
第1試合のチームは試合開始の30分前、第2試合以降については、前の試合のハーフタイムに記録席前で行う。
メンバー表は大会申し込みされた役員5名、選手16名までを記載して提出すること。
また、役員には必ずA～Eの役員カードの記号を記入しておくこと。
- (2) ユニホームの確認時には、本大会で着用するすべての種類のユニホームを持参すること。
調整がつかない場合には、チーム番号の大きいチーム（プログラムの下側に記載のチーム）が変更することとする（ユニホームは当該チームで事前に打ち合わせしても構わないが、当該レフェリーの承認が必要なことを忘れず、必ず打ち合わせ時にすべてのユニホームを持参すること）。
- (3) トスは、ユニホーム確認時に行う。選手、チーム役員いずれでもよいが、その場で判断できる者でなければならない。
- (4) 短パンの下に着用するサイクリングパンツの着用、靴下など日本協会ホームページに掲載の「服装及び身に着けられる装具について」を本大会でも準用する。審判員、競技役員がチェックするが、責任はチーム責任者及び選手にある。ただし、ハイカラーのアンダーシャツを着用する場合は、学連独自の取り決めにより、チーム全員が同じ形態のものを着用すること（例えば、5人がハイカラー、残りが短いものであってはならない）。

9. 登録証の提出及び返却、メンバーの確認

- (1) 7月6日までの参加申込時に決定したチーム役員、選手のみが競技に参加、出場できる。
2023年度登録証は常に携帯すること。また、各試合に登録証を提出しなければ、試合に出場・参加することはできない。
- (2) ベンチには、チーム責任者1名（A）を含みチーム役員5名、選手16名の合計21名まで入ることができる。
- (3) 登録証は、メンバー表の提出と同時にTOに提出する。審判員とTOによって、チーム役員と選手及び登録証が確認される。試合終了後、TOから両チーム代表者に登録証が返却される。直接失格となったプレーヤーにはその場で返却しない。
- (4) チーム役員は、大会主催者が準備したA・B・C・D・Eカードを着用し、試合終了後返却する。
- (5) チーム役員は相手チームのコートプレーヤーとはっきり区別のできる服装でなければならない（同色のユニホームとポロシャツなど不可）。

10. 公式記録用紙（ランニング記録用紙）の確認

- (1) チーム責任者は、試合開始前にチーム役員氏名、カードナンバー及び選手の氏名と背番号が正しく記入されているかを確認し、サインする。できれば、メンバー表提出後、怪我で交代可能な試合開始10分前に記録席にて、確認、サインすることが望ましい。
- (2) 公式記録用紙（ランニング記録用紙）に記入されている者だけが、交代地域に入ることができる。

11. 交代地域

- (1) 各チームのボールは、競技開始前にケースに収納し、ベンチの後方（交代地域内）に置く。競技開始後にボールに触れることを含めて、ボールの使用は禁止する。
- (2) 飲料水は、飲み口の細い容器を使用すること。コップの使用を禁止する。ボトルの共有はできるだけ避け、個人で使用する。
- (3) 交代地域では、あらゆる通信機器の使用を認める。利用については、(公財)日本ハンドボール協会HP掲載の「交代地域に持ち込み可能な技術的機器に関するガイドライン」に準じて使用すること。
- (4) 交代地域では、大声での応援、立ち上がったままの応援は控えること。
- (5) チーム役員は原則として座っていなければならない。ただし、原則としてチーム役員1名のみが、戦術的な指示を出すことや、治療を目的としてコーチングゾーンの範囲内で動くことが許される。
- (6) 交代地域にはメンバー表に記載された役員・選手以外は立ち入りできない。競技中に荷物整理や水の補給等で、交代地域に近づくような行為は罰則の対象となる。

12. チームタイムアウト

チームタイムアウトは、前後半2回まで（1試合3回目まで）とることができる。チームタイムアウト請求カード（グリーンカード）は、チーム役員だけが提出することができ、記録席の上に置かなければならない（またTDが受け取っても良い）。提出するためにコーチングエリアを超えたら、すぐにグリーンカードを提出しなければならない。躊躇することは許されない。ただし、提出の判定のタイミングにより、チームタイムアウトにならない時がある。その場合、TDはグリーンカードを受け取らず返却することになる。

13. 休憩時間（ハーフタイム）のコートの使用

休憩時間（ハーフタイム）のコートの使用は、次の試合のチームの練習に使用する。

14. 2足制の厳守

競技会場内は必ず体育館シューズ（インシューズ）を着用し、屋外シューズと区別すること。

15. 松やに・松やにスプレーの使用禁止

松やに及び松やにスプレーに類するものは一切使用禁止とする（使用した場合は即刻失格とする）。ただし、両面テープのみ使用可とする。各チームにおいては、テープの後始末とゴミの持ち帰りを実践すること。

通常、練習で松ヤニを使用しているチームは、インシューズの靴底を松ヤニクリーナーで清掃した上で参加すること。また、アップで使用するボールも、松ヤニの付着していないボールを用意すること。

16. TO、裁定委員会

- (1) 本大会にTOを配置する。TOは、競技委員長のもとで競技役員として各試合に立ち会い、各試合を円滑に運営するために、審判員、全ての競技役員、補助員と協力して試合を管理する責任者である。
- (2) 本大会に裁定委員会を設置する。委員は、全日本学生ハンドボール連盟役員及び連盟指名者とする。なお、必要に応じて関係者を同席させることがある。裁定しなければならない事案が生じた場合は、当日に裁定をし、関係者に通知する。その結果は、各会場に公示する。

17. 次の試合の選手の競技場への立ち入りについて

次の試合の選手は、試合終了時に両チームの挨拶が終了するまで競技場への立ち入りを禁止する。競技場内は常に秩序を保ち、次の試合の選手が競技場内でウォーミングアップをしたり、ボールを使用したりすることを禁止する。

また、競技場内のフロアーに座って試合を観戦することも禁止する。

18. 臨時トレーナー席

役員登録されていないチーム帯同のトレーナーのために、交代地域の外側に席を設置する。臨時トレーナーは、公的資格等を有していなければならない。臨時トレーナーは、各試合前にTOに届出を行い、その際に保有資格の証明証等を提示すること。

臨時トレーナーは、いかなる理由があっても、交代地域、コートに立ち入ることはできない。選手は一時的に交代地域から許可なく離れて治療などを受けることができる。

19. ドーピング

今大会はJADA指定で、ドーピング検査の対象大会となっている。質問等ある場合には、会場内のJADA担当者に尋ねること。

20. 健康管理について

大会前から体調管理を十分に行わなくてはならない。

また、試合中の傷害についても、状況によって試合参加を見合わせるよう大会責任者、TO、審判員、医師から指示される場合もあるので留意すること。

21. 危機管理

各チーム、各個人で危機管理意識を高く持ち、各種の緊急事態に備えるよう心掛ける。

その他、会場利用等の注意事項

22. 開場時間について

会場の開場時間は以下のとおりで、**入退場は1階正面出入口を使用**してください。

大会は有観客で実施し、入退場も自由に行えます。

月日	開場時間
8月8日(火)	9:00
8月9日(水)	8:00
8月10日(木)	8:00
8月11日(金)	8:00
8月12日(土)	9:00
8月13日(日)	9:00

23. 使用コートの変更

大会5日目(8月12日～)からの使用コートをAコートから「**Bコート**」に変更します。

24. 更衣室について

更衣は必ず更衣室(体育館1階東側:添付資料参照)で行ってください。ロビー及び観客席での更衣は厳禁とします。また大会用として男子(更衣室3・4)及び女子(更衣室5・6)を二部屋ずつ用意していますので、大人数にならない様に分散して利用してください。

なお、更衣室の占有は禁止とし、利用時間は15分以内としてください。**シャワーの利用は禁止**します。

25. ウォーミングアップについて

8月8日から11日までのウォーミングアップは、サブホール(2階)を使用してください。8月12日及び13日は、メインアリーナに設置するスタンド裏を使用してください(添付資料参照)。また、**アップ会場に入れるのは、登録された選手20名及び役員6名のみ**とします。

屋外でウォーミングアップする場合は、ボールの使用を禁止します。

また、必ず2足制を厳守してください。

屋内アップ会場	ボール	屋外アップ	ボール
サブホール(8/8~11)		可	×
メインアリーナスタンド裏(8/12~13)	○		

26. チームでのビデオ撮影及びライブ配信について

観客席から撮影する場合は、**着席した状態での撮影のみ**を認めます。

今大会は4日目(男子準々決勝)からの試合をインターネットでライブ中継します。中継はUNIVAS(大学スポーツ協会)が撮影、配信することとなりました。つきましては、試合の個人、チームでの撮影は許可しますが、**4日目の男子準々決勝以降のSNSなどでのライブ配信及び投稿は行わない**ようお願いいたします。

なお、4日目の男子インカレ出場決定戦は、チームでのライブ配信を許可します(UNIVASでの配信はありません)。

27. 大学スポーツ新聞関係者について

各大学のスポーツ新聞取材関係者は、大会受付で申し込みを行なってください。ADカードを配布（カメラマン1名、記者1名の最大2名分）しますので、これを携帯している方は、フロアでの撮影及び取材を許可します。ただし、ベンチサイド、ゴールの後ろなどでの撮影は禁止します。撮影はベンチサイドの反対側のみで行うようにお伝えください。

28. トレーナーブースの設置について

今大会はトレーナーブースを設置いたします。トレーナーブースでは、日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー、柔道整復師などの資格を1つ以上有したスタッフが対応いたします。テーピングが必要な方は、巻き方や処置のサポートを行いますので、**必ずご自身でテーピングを用意いただきお越しくください。**コンディション向上のお手伝いもしますので、不調がある場合はお気軽にご相談ください。

また、トレーナーブースは1階正面出入口の大会受付の後方に設置しています。

29. 応援について

観客席で立ち上がっての応援は禁止します。必ず着席して応援してください。

また、応援について特段の制限は設けません。

30. ゴミについて

各チームのゴミはすべて持ち帰り、宿舎等で処分してください。

31. 部旗及び横断幕等の掲揚について

部旗及び横断幕等を掲揚する場合は、以下の注意事項を守ってください。

掲揚方法		注意事項
紐	テープ*	
○	○	観客席(ガラス面)に掲揚する場合は、 手すりの下から付けてください。

※テープは養生テープのみとします。テーピング、両面テープ、ガムテープ等は禁止します。

32. 大型バス等の駐車について

駐車場所が決まっておりますので、別添資料を確認ください。また、駐車場（P5）を利用した場合は帰路が往路と違いますので、併せて確認ください。

試合終了後の選手の乗車は入口のロータリーを使用せず、バスが駐車してある場所でご乗車ください。駐車場（P5）が満車の場合は、誘導員の指示に従って駐車ください。

33. マナーについて

喫煙場所を厳守してください。学生スポーツマンとしての自覚を持って行動してください。ゴミの放置やタバコの吸殻の投げ捨て、更衣室以外での更衣、ウォーミングアップ場所以外でのアップなど、大会役員、学連委員等の指示に従わない場合には、裁定委員会にかけ、処罰を決定することとなります。

34. 表彰式について

最終日に閉会式にて実施します。閉会式は男子決勝戦終了後、準備が整い次第ただちに執り行います。優秀選手に選出された選手も、必ずご出席ください。

男女3位以上のチームは、8月12日(土)の準決勝終了後に実施します。

35. プログラム等の受け渡し及び内容の訂正について

大会参加初日に大会受付にてプログラム及び出場記念品等をお渡ししますので、必ず受け取りに来てください。プログラム受領後に内容を確認し、訂正があれば直ちに大会受付に正誤表をご提出ください。

また、訂正は氏名の誤り等のみとし、背番号の変更、選手の変更は認めません。

大会時の救急医療情報センター

連絡先 : 愛知県救急医療情報センター (Tel 0565-34-1133)

試合会場 : スカイホール豊田

〒471-0861 豊田市八幡町 1-20 Tel 0565-31-0451

宿舎・弁当・交通手配の連絡

株式会社シンファート 宮本和則 携帯 : 090-5521-3997

傷害保険手続きの連絡先

連絡先 : 損保ジャパン事故サポートセンター 0120-727-110

(こちらは 24 時間 365 日対応しています)

※大会期間中(出発から帰着まで)に事故等が起きた場合には、
事故サポートセンターにご連絡ください。

引受会社 : アセットガーディアン株式会社 関西支社 0798-22-3007

(大会期間中はお休みしています)

大会本部

試合会場 : スカイホール豊田 大会本部

宿泊先 : ホテルトヨタキャッスル

豊田市喜多町 2 丁目 160 番地コモ・スクエア ウェスト

Tel 0565-31-2211

諸注意等の問い合わせ先

メールアドレス : info@tshf.jp (東海学生ハンドボール連盟事務局宛)